



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

記事を読んで問いに答えなさい。

2020年11月20日朝刊



摂取と長寿の要因調査が始まるミカン＝浜松市北区三ヶ日町

浜医大の中村美詠子准教授、同志社女子大の杉浦美教授と市の担当者が同日、市役所で説明した。3者によると、00年当時、旧三ヶ日町の平均寿命(男79・2歳、女86・3歳)は全国平均(男77・7歳、女84・6歳)や県平均を上回った。原因を調べるために03～13年に同町や農業・食品産業技術総合研究機構、浜医大が住民約千人を追跡調査した「三ヶ日町研究」により、ミカンの摂取が生活習慣病予防に有効と確認された。

三ヶ日みかんなどのウンシュウミカンには色素成分「β-クリプトキサンチン」が含まれ、毎日3、4個食べると、血糖値や血中の同成分濃度が高く、糖尿病や動脈硬化を起す人が少なかったという。

新たな調査は「三ヶ日町アクティブエイジング研究」と命名。協力者の同意を得て、市は健康診断結果や介護認定情報などの公的データを提供する。中村准教授は「行政と大

浜松医科大(浜松市東区)、同志社女子大(京都市)と浜松市は19日、ミカン特産地の同市北区三ヶ日町の住民に長寿傾向がみられる要因としてミカンをよく食べる習慣が関連しているとの仮説を裏付ける目的で、追跡調査を始めたと発表した。2027年まで住民477人の健康データを調べる。

「ミカン摂取で長寿」研究 三ヶ日町住民を調査

浜医大など

学協働により、健康長寿を推進する新たなエビデンス(根拠)が生まれれば」と話し、(浜松総局・瀬島義孝)

①「ミカンと長寿との関連」についての仮説を書きなさい。

[]

② 浜松市北区三ヶ日町の平均寿命は全国平均や静岡県平均に比べてどうか。

[]

③ ウンシュウミカンに含まれるどんな成分が糖尿病や動脈硬化の防止に効果があると考えられるか。

[]

④ 新たな調査はどんな目的で行われるのか。

[]

年 組 名前



Newspaper in Education

記事を読んで問いに答えなさい。

静岡新聞で学ぼう



2020年11月20日朝刊

解答例



摂取と長寿の要因調査が始まるミカン＝浜松市北区三ヶ日町

浜松大の中村美詠子准教授、同志社女子大の杉浦美教授と市の担当者が同日、市役所で説明した。3者によると、00年当時、旧三ヶ日町の平均寿命(男79・2歳、女86・3歳)は全国平均(男77・7歳、女84・6歳)や県平均を上回った。原因を調べるために03～13年に同町や農業・食品産業技術総合研究機構、浜医大が住民約千人を追跡調査した「三ヶ日町研究」により、ミカンの摂取が生活習慣病予防に有効と確認された。

新たな調査は「三ヶ日町アクティブエイジング研究」と命名。協力者の同意を得て、市は健康診断結果や介護認定情報などの公的データを提供する。中村准教授は「行政と大

浜松医科大(浜松市東区)、同志社女子大(京都市)と浜松市は19日、ミカン特産地の同市北区三ヶ日町の住民に長寿傾向がみられる要因としてミカンをよく食べる習慣が関連しているとの仮説を裏付ける目的で、追跡調査を始めたと発表した。2027年まで住民477人の健康データを調べる。

「ミカン摂取で長寿」研究

三ヶ日町住民を調査

浜医大など

学協により、健康長寿を推進する新たなエビデンス(根拠)が生まれれば」と話し

(浜松総局・瀬島義孝)

①「ミカンと長寿との関連」についての仮説を書きなさい。

(例) 長寿傾向がみられる要因として、ミカンをよく食べる習慣が関連している。

② 浜松市北区三ヶ日町の平均寿命は全国平均や静岡県平均に比べてどうか。

(どちらの平均も) 上回っている。

③ ウンシュウミカンに含まれるどんな成分が糖尿病や動脈硬化の防止に効果があると考えられるか。

(色素成分)β-クリプトキサンチン

④ 新たな調査はどんな目的で行われるのか。

(例) 行政と大学の協働により、健康長寿を推進する新たなエビデンス(根拠)を得るため。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/理科、保健体育、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

記事を読んで問いに答えなさい。

2020年11月20日朝刊



摂取と長寿の要因調査が始まるミカン＝浜松市北区三ヶ日町

浜松市中村美詠子准教授、同志社女子大の杉浦美教授と市の担当者同日、市役所で説明した。3者によると、00年当時、旧三ヶ日町の平均寿命(男79・2歳、女86・3歳)は全国平均(男77・7歳、女84・6歳)や県平均を上回った。原因を調べるために03～13年に同町や農業・食品産業技術総合研究機構、浜医大が住民約千人を追跡調査した「三ヶ日町研究」により、ミカンの摂取が生活習慣病予防に有効と確認された。

三ヶ日みかんなどのウンシュウミカンには色素成分「β-クリプトキサンチン」が含まれ、毎日3、4個食べると、血糖値や血中の同成分濃度が高く、糖尿病や動脈硬化を起す人が少なかったという。

新たな調査は「三ヶ日町アクティブエイジング研究」と命名。協力者の同意を得て、市は健康診断結果や介護認定情報などの公的データを提供する。中村准教授は「行政と大

浜松医科大学(浜松市東区)、同志社女子大(京都市)と浜松市は19日、ミカン特産地の同市北区三ヶ日町の住民に長寿傾向がみられる要因としてミカンをよく食べる習慣が関連しているとの仮説を裏付ける目的で、追跡調査を始めたと発表した。2027年まで住民477人の健康データを調べる。

「ミカン摂取で長寿」研究 三ヶ日町住民を調査

浜医大など

学協働により、健康長寿を推進する新たなエビデンス(根拠)が生まれれば」と話し、(浜松総局・瀬島義孝)

①「ミカンと長寿との関連」についての仮説を書きなさい。

[

]

② 浜松市北区三ヶ日町の平均寿命は全国平均や静岡県平均に比べてどうか。

[

]

③ ウンシュウミカンに含まれるどんな成分が糖尿病や動脈硬化の防止に効果があると考えられるか。

[

]

④ 新たな調査はどんな目的で行われるのか。

[

]

年 組 名前



Newspaper in Education

記事を読んで問いに答えなさい。

静岡新聞で学ぼう



2020年11月20日朝刊

解答例



摂取と長寿の要因調査が始まるミカン＝浜松市北区三ヶ日町

浜松大の中村美詠子准教授、同志社女子大の杉浦美教授と市の担当者が同日、市役所で説明した。3者によると、00年当時、旧三ヶ日町の平均寿命(男79・2歳、女86・3歳)は全国平均(男77・7歳、女84・6歳)や県平均を上回った。原因を調べるために03〜13年に同町や農業・食品産業技術総合研究機構、浜医大が住民約千人を追跡調査した「三ヶ日町研究」により、ミカンの摂取が生活習慣病予防に有効と確認された。

新たな調査は「三ヶ日町アクティブエイジング研究」と命名。協力者の同意を得て、市は健康診断結果や介護認定情報などの公的データを提供する。中村准教授は「行政と大

浜松医科大(浜松市東区)、同志社女子大(京都市)と浜松市は19日、ミカン特産地の同市北区三ヶ日町の住民に長寿傾向がみられる要因としてミカンをよく食べる習慣が関連しているとの仮説を裏付ける目的で、追跡調査を始めたと発表した。2027年まで住民477人の健康データを調べる。

「ミカン摂取で長寿」研究

三ヶ日町住民を調査

浜医大など

学協働により、健康長寿を推進する新たなエビデンス(根拠)が生まれれば」と話し

(浜松総局・瀬島義孝)

①「ミカンと長寿との関連」についての仮説を書きなさい。

(例) 長寿傾向がみられる要因として、ミカンをよく食べる習慣が関連している。

② 浜松市北区三ヶ日町の平均寿命は全国平均や静岡県平均に比べてどうか。

(どちらの平均も) 上回っている。

③ ウンシュウミカンに含まれるどんな成分が糖尿病や動脈硬化の防止に効果があると考えられるか。

(色素成分)β-クリプトキサンチン

④ 新たな調査はどんな目的で行われるのか。

(例) 行政と大学の協働により、健康長寿を推進する新たなエビデンス(根拠)を得るため。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/理科、保健体育、総合)